



鉱物が好物な人のための

埼玉鉱物同好会 会報誌



SAITAMA MINERAL CLUB REPORT MAGAZINE

「埼玉鉱物同好会」から 「NPO法人 鉱物友の会」への移行のお知らせ

皆様のおかげで、埼玉鉱物同好会は会員数も280名を超える規模になりました。現在は埼玉中心に活動していますが、他県の会員様も増え、更に他地方からも発足を熱望されています。ご期待に応え活動エリアを全国に拡げる為に、現在の任意団体「埼玉鉱物同好会」から「NPO法人 鉱物友の会」に形態変更をいたします。変更は2017年4月1日をもって移行いたします。いつでも情報共有及び発信ができるようホームページも作成し、毎週ブログ・ツイッター・Facebookも更新します。定例会も現在の埼玉だけではなく、東京・宮城・新潟・広島・福岡・沖縄・岡山・熊本でも開催いたします。

変更点	変更前	変更後
名称	埼玉鉱物同好会	NPO法人 鉱物友の会
会報誌	郵送かメール添付の選択	郵送
会費期首	4月1日	入会日
会費支払方法	現金又は振込	口座引き落とし又はカード決済
年会費(会員)	一般1,500円・WEB1,000円・家族200円	一般1,500円・家族200円

役員の紹介及び目的・活動予定・会則等は「NPO法人 鉱物友の会」広報誌にてご報告・ご案内させていただきます。また、浅草橋ミネラルマルシェ会場[浅草橋ヒューリックホール・2月24日(土)～26日(日)]にて、詳細をご説明するブースを3階ロビーに設けますので、そこでも更新及び入会手続きは可能です。

今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。

事務局長 小出聡



NPO法人 鉱物友の会

〒365-0043 埼玉県鴻巣市原馬室639-4(エディオック内)

TEL 048-541-0123(エディオック)

FAX 048-577-3474

Mail info@ishitomo.club

URL http://ishitomo.club

第3回定例会レポート



大事なお宝のために参加者は真剣です

「あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします」そんな声が飛び交う今期3回目の定例会が、1月22日日曜日にクリアこうのす大会議室にて開催されました。

この日の講習内容は次ページ以降に掲載されている、コレクションのクリーニングの仕方とその保存法。どちらも当会会員にとっては、採集・収集の次に関心のあ

る事でないでしょうか。その関心度は会場の熱気にもあらわれ、終始真剣な様子が見られました。休憩時には受付にひとだかりが。先日発売になり、すでに売り切れが続出中の「鉱物切手」が特別販売されました。この切手は浅草橋ショーでも販売されます。素敵な写真の数々に使用するには惜しい切手シートです。まだ手に入れてない方は是非入手してください。

さて、お待たせしました（笑）恒例の提供鉱物配布会。毎回休憩に入る前に番号札を配布するのですが、この時点から参加者たちはそわそわ。なにせ今回はレア鉱物の登場！外産の素晴らしい標本や誰もが憧れる某所の水晶の数々。更には第2回の採集会で訪れた蛭鉱山の鉱物も並び大変盛り上げられました。閉会後のテーブルの上に残ったのは母岩の欠片と土埃。ひとつも残らず参加者のコレクションに加わりました。毎回沢山の鉱物が提供されて参加者を楽しませてくれています。提供者の皆様には心より感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



お目当てが残ってるか！



これが！レア鉱物！



ご提供、ありがとうございました



今回も数々のお宝の山

浅草橋ミネラルマルシェにて販売されるオリジナルフレーム切手「奥三河の大地に眠る石の華」

1シート:1,300円
82円切手×10枚

お1人様
5シート限定

新年会レポート

続きましては毎年？の恒例となりました埼玉鉱物同好会の新年会です。鴻巣鉱山の直ぐ隣の居酒屋『くいもの屋わん』にて、大部屋個室に約30名の参加者で満員御礼。定例会では中々お話しできない人達や見知らぬ顔でもお隣同士になれば我々鉱物好き、同好の士。あっという間に話が弾み、さらにお酒が入ると更に話が弾み、もう止まりません（笑）

宴も盛り上がったところで、新年会イベント恒例？のクイズ大会！副会長が出すマニアでコアな問題にも参加の皆さんはスラスラ答えます（驚）正解者はご褒美の鉱物を手にし、ニコニコの笑顔で新年会を終える事が出来ました。次回は4月1日（土）に大宮にて親睦会を開催致します（詳しくは7ページにて）皆様の参加をお待ち致しております。



早く！乾杯！しようよ！

次回の定例会（総会）は「NPO法人 鉱物友の会」として6月中旬頃を予定しています。詳しくは「NPO法人 鉱物友の会」広報誌 vol.1号にて告知致します。次回も皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

鉱物標本の作り方とクリーニングの仕方

鉱物標本の作り方

標本作りの過程において大事なことは、

- ①標本の形成・加工（トリミング）
 - ②標本ラベルの作り方
 - ③標本の保管・保存の方法
- の3点に大別できます。

今回の講習内容は、「鉱物標本の作り方」と「鉱物のクリーニングの仕方」です。鉱物標本は目当ての鉱物がどこに在るのがはっきりしていたり、しっかりとした標本ラベルが一緒にあるかなどによって、良い鉱物標本として価値が上がったり、鉱物資料として長きにわたって大事に保存されていきます。鉱物のクリーニングは、標本の見た目の向上はもちろんで、隠れている鉱物を見つけ出したり、その鉱物本来の特性（光沢・条線など）をはっきりさせてくれたりと、その鉱物をより良くしてくれるので、鉱物標本づくりの大事な点の一つになってきます。では、最初に鉱物標本の作り方について、ご説明していきます。

1 標本の形成・加工（トリミング）編

まずは、標本の形成・加工です。鉱物採集を終えて、もしくは、ミネラルショーやショップで買ってきた鉱物について、これから標本を作り上げていきます。そのときに、目当ての鉱物ではない不要な部分を切り取ったり、標本をしまう棚や箱に入りきらない大きさだったりした場合、標本に形成や加工を行います。形成や加工をするに際して、最も重要なのは、目当てである鉱物を一番に際立たせることなので、どの部分をトリミングしていくのが重要になります。そのとき必要となるのが、トリミングを行う道具です。



道具は鉱物採集のときのものではなく、小さい道具が基本です。（写真①）小型のハンマーやタガネ、ニッパーや釘など、多くは箱や小さめの棚に合わせてトリミングするので、小型の方が使いやすいです。



②秩父鉱山、橋掛沢産の灰簪柘榴石の母岩に茶色いベスブ石が付いているので、ベスブ石が際立つようにトリミングする。



③柘榴石のくぼみや割れている所にタガネを打つ。



④トリミング完成



⑤檜山の玉髄。大きいので小さくする。⑥玉髄を割る。



⑦割った中がジオードになっている。



⑧方解石などは、へき開によって簡単に割れる。



⑨破片が飛ばないようにティッシュなどでくるんで割る。



⑩方解石は小さくても、ひし形に割れる。

以上が基本的な標本の形成・加工・トリミングです。トリミングのときでも、ゴーグル・軍手などの保護道具は必要となります。

2 標本ラベルの作り方 編

次の段階は、標本ラベルの作成です。

鉱物標本は、しっかりとしたラベルが付いていてこそのもので、標本ラベルと一緒にないと、その価値が半減してしまいます。なので、どんなに小さな鉱物でも部屋の中に標本として置いておくならば、ラベルは必要になります。ラベルは鉱物の戸籍のようなもので、できるだけ多くの情報を記載してあげます。ラベルに記載したほうが良い情報は右の通りです。

以上が、基本的に記載しておいた方がよいとされる標本の情報です。ラベルも、もちろん、箱などの大きさに合わせて使った方が見栄えが良いので、ラベルにすべての情報が記載できないときは、重要である幾つかの項目を記載できれば良いのです。ラベル記載情報の中で、特に記載した方がよいのは、和名・英名（学名）・産地名、この3つが特に重要な情報なので、これだけは記していないと標本の価値が無くなってしまいます。

ラベルの記載情報

1. 整理番号
2. 和名
3. 英名・学名
4. 産地名
(国名、都道府県名、市町村名、
州名、鉱山名、沢・露頭など)
5. 化学組成
6. 採集日、採集者
7. 購入先(お店の名前)
8. 購入日
9. 備考・その他
(標本や産地の説明など)

⑪ラベル例（灰鉄柘榴石）

NO	100	$\text{Ca}_3\text{Fe}_2(\text{SiO}_4)_3$
灰鉄柘榴石		
Andradite		
長野県南佐久郡川上村甲斐信鉱山		
ミニツイン坑道		
備考：スカルン鉱床、方解石の共生、 坑道内採集。		
Fumiaki, horikoshi 2013年5月3日		

⑫ラベル例（フォスフォファイト）

NO	100	$\text{Zn}_2\text{Fe}^{2+}(\text{PO}_4)_2(\text{H}_2\text{O})_4$
燐葉石		
Phosphophyllite		
Bolivia, Potoshi, Huayllani 鉱山		
備考：新宿ミネラルショーで購入。		

3 標本の保管・保存の方法 編

次は、鉱物標本の作り方の最終段階である、標本の保管と保存の方法です。

鉱物を一番ベストな状態にトリミングして、その鉱物のラベルを作成し、ようやく自分の部屋の中に鉱物標本として保存させておくことができます。最終的に、標本用の小箱や標本棚にしまっておけば、多くの標本作りはこれで完了です。鉱物の多くは丈夫なので、落としたり、強い衝撃でも加えない限り、割れることはないのですが、一部、ふつうの保管方法とは別にした方がよい鉱物もあります。

物理的な衝撃以外にも鉱物を痛める可能性があるのは、紫外線・酸素・湿気・乾燥などで、これらに弱い鉱物は当然、個々に応じた保管方法を用いないといけません。

次に挙げる鉱物は、紫外線・酸素・湿気・乾燥などの衝撃に良くないとされる代表的な鉱物です。

《紫外線・光》

アメジスト・鶏冠石・シリン・クンツァイト・
セlestait・トルコ石など

《酸素》

緑マンガン鉱・白鉄鉱・斑銅鉱・藍鉄鉱・硫化鉄物など

《湿気・水》

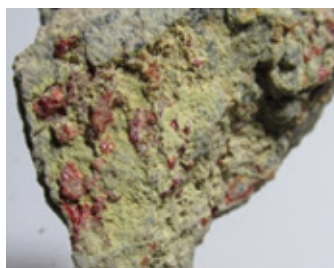
岩塩・胆礬・石膏・藍銅鉱・毛状鉱物など

《乾燥》

オパール・濁沸石など



⑬アメジストは紫外線に弱く脱色する。



⑭新鮮な鶏冠石は赤いが光によって黄色く変質する。



⑮天青石も光に曝しておくとう青が退色したりボロボロになる。



⑯白鉄鉱は酸化が進むと黒ずんだりボロボロになる。



⑰斑銅鉱は、新鮮なときは赤銅色で空気にあると青紫のメタリックカラーになる。



⑱岩塩は水、湿気が強いと溶け出す。



⑲石膏も水に溶ける。



⑳オパールは乾燥しすぎるとひび割れてしまう。

以上が物理的衝撃以外の刺激に弱い鉱物の代表的なものです。紫外線や光、空気中の酸素といったものに弱い鉱物は、プラスチックケースで密閉したり、黒い布で覆い、光を遮断します。また、湿気や乾燥に弱い鉱物は、温度などに気を付けていれば、これらの鉱物を長期間保存することができます。

これらすべての工程を終了し、自分の標本箱や標本棚に収納しておけば、鉱物標本の完成です。



完成した鉱物標本



標本棚



標本箱

鉱物のクリーニングのしかた

最後に、鉱山で採取した鉱物のクリーニングの仕方をご説明します。鉱物のクリーニングは、大きく分けて、次の二つの段階を踏んでなされます。

①産地で採ってきた鉱物の土や泥を落とす作業。

②鉱物の表面に付いた錆などを落とす作業。

①石に付いた泥を落とす。

鉱山のズリ場の表面で採れた石ならまだしも、ズリの下の中や、ガマの中から採れたばかりの石は、泥や粘土にまみれています。そこで、まず、石に付着した泥を落とす必要があります。一般的には、次の方法で泥を落とします。

①バケツに石を入れ、石が見えなくなるまで水やぬるま湯を張って1週間ほど置く。ぬるま湯に台所洗剤などを入れてもよい。

②石に付いた泥が柔らかくなるので、ブラシ・歯ブラシ・楊枝・千枚通しなどを使って汚れを取る。中には、高圧洗浄機や歯医者で使用する洗浄機を使う人もいます。



①大きい石ではバケツを使う。



②塩酸が少ない場合はビニール袋で



③石の大きさに合わせた容器

100円ショップ等で売っている容器に塩酸を入れ、蓋をして放置しておきます。塩酸を入れた容器を、さらに、熱湯を入れた容器に入れると、洗浄効果が増しますが、塩酸を直接熱してはいけません。

②鉱物の錆や取り切れない汚れを落とす

石に付いた鉄さびなどは、水や洗剤では落ちません。そこで鉄さびなどの汚れを落とすために、塩酸やシュウ酸などの薬品を使います。

塩酸

塩酸はすばらしい洗浄効果が期待できます。ただし、扱い方に注意が必要です。ゴーグル・マスク・ビニール手袋が必須です。揮発した塩酸を浴びないように、屋外で風上に立って洗浄します。鉱物が隠れるくらいに塩酸に付けられればいいのですが、できれば、鉱物の大きさに合わせた容器に半分くらい塩酸を入れます。1～3日、浸けておくのが目安です。浸け終わったら、塩酸を中和(※)させて捨て、鉱物を10日くらい水に浸けておきます。塩酸で一回洗浄しただけでは落ちない汚れに対しては、水に浸したあと、さらに塩酸で洗浄すると、鉱物がきれいになります。

シュウ酸

塩酸で処理したあと、シュウ酸を使うと洗浄効果が増します。

●塩酸、シュウ酸の購入方法

チェーン店のドラッグストア等では取り扱わない事が多いので、古くから営業してる薬局(毒物劇物取扱責任者)に聞いてみましょう。購入の際には身分証や印鑑などが必要となります。

塩酸を使用する場合の注意

シュウ酸もそうですが、特に塩酸を使う場合、次のような注意が必要となります。塩酸は直接吸い込んだり、目に入ったりすると大事に至ることがあります。

①家の中ではなく、必ず、外で使いましょう。

②風が吹いているときのほうがよく、使う人が風上に位置して使いましょう。

③使うときは、ゴーグル、水で濡らしたマスク、ゴム手袋を付けて使いましょう。

④万が一、煙を吸い込んだり、目に入ったりした場合は、流水でよく洗い流しましょう。

⑤(※)使用済みの硫酸は、苛性ソーダ等で中和して捨てるようにしましょう。中和剤がない場合は、塩酸の入った容器に多量の水を加えて塩酸を薄めてから捨てましょう。

⑥塩酸で鉱物の汚れを落とす時間は、数時間から丸一日くらいがよいでしょう。鉱物の汚れが落ちたあとは、塩酸から取り出した鉱物を1週間くらいつけて水につけておくと、表面に付着した塩酸の黄ばみがとれます。



埼玉ミネラルマルシェのご案内

地元埼玉・大宮ソニックシティに於いて「第5回 埼玉ミネラルマルシェ」が開催されます。会員の皆様は入場無料ですので、お越しの際には受付にてお名前をお申し出ください。非会員のお友達をお連れの際には「埼玉ミネラルマルシェ」チラシ、または Facebook などのチラシ画像をご提示ください。「NPO法人 鉱物友の会」入会案内も行っておりますのでお声掛けください。

大宮ソニックシティ B1 第1～5展示場

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5

第1展示場のみ
3月31日(金)・4月1日(土)・2日(日)
15:00～20:00 10:00～19:00 10:00～17:00

入場料:500円(3日間通し券) **中学生以下 入場無料**

☆親睦会のお知らせ

埼玉ミネラルマルシェ会期中日に、親睦会を開催いたします。
会員の親睦深められる機会ですので、皆様ぜひご参加ください。

日 時: 2017年4月1日(土) **19:00集合**

集合場所: 埼玉ミネラルマルシェ 第1展示場前ロビー
(大宮ソニックシティ B1)

会 場: JR大宮駅前の居酒屋を予定

会 費: 4,000 円位を予定

参加申込: 3月15日(水)までに事務局までにメールか

電話でお申込ください。当日席設置等の都合上、必ずご連絡ください



参加者全氏名と合計人数、代表者緊急連絡先(当日連絡が取れる携帯電話番号)を必ず明記の上、事務局にメールか電話にてご連絡ください。件名を「親睦会申込」とご記入ください。
saikoukai@mineralshow.net

編集後記

春一番の便りが届き始めました。埼玉鉱物同好会会報として皆様にご愛読いただきまして誠にありがとうございました。至らない点も多数あったと思いますが、多くの皆様の目に触れるものと思うと毎回背筋を伸ばして原稿に向かい、何度も読み返し書き直しを繰り返した日々が思い出されます。また、取材時には快く写真撮影をさせてくださった皆様、協力してくださった皆様に心から感謝いたします。どうもありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
瀧澤淳子

埼玉鉱物同好会一番の鉱物についての知識の無い私ですが、この会報誌制作を通じて鉱物の知識が・・・増えて無いかも。3年に渡りゆとりと楽しく制作させて頂きました。その間、パソコンが壊れ、会報誌のデータが飛んだり、骨折入院で会報誌制作をお休みさせて頂きたりと色々ありました。とは言え今後も「NPO法人 鉱物友の会」の会報誌制作に携わる事になりますが、今後ともよろしくお願い致します。
福田陽一郎

次号予告

今回は5月初旬の発行予定です。

「NPO 法人 鉱物友の会」としての会報誌第一号となります。新しい役員の紹介及び目的・活動予定・会則等掲載! 「NPO法人 鉱物友の会」をお楽しみに!

事務局より

埼玉鉱物同好会の活動について

本会は鉱物の愛好者で組織し、各地の鉱物の調査研究採集を行い、また鉱物に関する科学的な知識及び自然尊重の精神を培い、併せて会員相互の親睦をはかることを目的とする。本会はボランティア組織のため、お問い合わせなどにすぐに対応できないことがあります。また、会運営に関するご意見や質問、会報誌に掲載する記事、挿絵、写真、採集情報等がございましたら遠慮なく事務局までお申し出ください。

個人情報の取扱い

会員の個人情報につきましては、本人の書面(Eメールを含む)による了解無しに会事務局で無断で第三者に公開または提供することはいたしません。また、会員の皆様におかれましても、会則に則り、活動を通して知り得た他の会員の個人情報等の取り扱いには十分な配慮をお願いいたします。

編集: 瀧澤淳子 福田陽一郎 発行: 埼玉鉱物同好会事務局 埼玉県鴻巣市原馬室 639-4 (エディオック内) 048-541-0123